

人材公募

研究員応募要領

◆職種	主任研究員、研究員
◆研究テーマ	CO2地中貯留技術に関する研究開発
◆研究内容	CO2貯留研究グループでは、大規模CO2排出源から分離・回収されたCO2を地下深部の地層に貯留する技術開発を行っている。特に2020年頃の実用化を目指してCO2回収・貯蔵安全性評価技術の開発や、海外とのCO2回収・貯留技術に関する協力等を進めており、地質構造モデリング技術・CO2モニタリング技術・CO2挙動シミュレーション技術・CO2環境影響評価技術等多岐にわたる専門知識や、海外との事業協力経験等を有する人材を求めている。今回はこれらの専門分野で研究計画を立案し、研究課題を担当できる方を募集する。
◆研究分野	<p>①地球物理モニタリング(主に、地震波解析の研究) 【研究分野】地震波探査解析等の研究。OBC(Ocean Bottom Cable)観測データ等の解析や評価、及び、物理検層に関する実施計画の立案、現場観測データの解析・評価等の経験を有する方。主任研究員／研究員クラスを希望。</p> <p>②地球物理モニタリング(主に、微小地震観測手法の研究) 【研究分野】微小地震観測手法等の研究。主に、OBC(Ocean Bottom Cable)観測システムの実用化を目指した微小地震観測・解析に関する計画立案、現場観測データの解析・評価。微小地震観測等の経験を有する方。主任研究員／研究員クラスを希望。</p> <p>③地球物理モニタリング(主に、フィールド観測統括者) 【研究分野】物理探査等のフィールド観測研究の統括。フィールド試験の統括や、現場観測について計画立案、業務管理等の経験を有する方で、即、観測現場を担当できる方。主任研究員／研究員クラスを希望。</p> <p>④地球物理モニタリング(主に、CO2 挙動解析手法の研究) 【研究分野】CO2 流動シミュレーションの研究。主に、地下環境におけるCO2 挙動を解析するためのリザーバーシミュレーション手法の研究。CO2 地中貯留シミュレーション等の経験を有する方。主任研究員／研究員クラスを希望。</p> <p>⑤CCS 関連海域環境影響評価(主に、CO2 移行のモデル解析) 【研究分野】CO2 漏出シミュレーションの研究。主に、海底下CO2 地中貯留において万が一CO2 が海洋環境へ移行するケースのモデル解析手法の開発研究。海底底質中のCO2 挙動モデルと生態系モデル等のモデル開発ができる方。また、英語による海外CCS 関連機関との技術的交渉が可能なこと。海底下CO2 地中貯留のリスク評価や、海洋へのCO2 影響評価等の経験を有する方。主任研究員／研究員クラスを希望。</p> <p>⑥CCS 関連海域環境影響評価(主に、海洋生物へのCO2 影響の研究) 【研究分野】海底下CO2 地中貯留に係わる海洋生態系の研究。主に、海底下CO2 地中貯留において万が一CO2 が海洋環境へ移行するケースにおいて想定される海洋生物へのCO2 影響の研究。海底底質中の窒素循環システムや生態系への影響研究等のメカニズム解析ができる方。また、英語による海外CCS 関連機関との技術的交渉が可能なこと。海底下CO2 地中貯留のリスク評価や、海洋へのCO2 影響評価等の経験を有する方。主任研究員／研究員クラスを希望。</p>
◆雇用形態	年俸制嘱託
◆勤務形態	常勤・週5日(月曜日～金曜日(祝日を除く)) 午前9時～午後5時30分
◆募集人員	各研究分野1名(兼務できる人を採用した場合は募集数が減ります。)
◆応募資格	博士号取得者又はそれと同等の能力を有し、研究計画を立案、実施できる方
◆待遇	給与は経験・実績等により決定

	交通費規定により支給 加入保険(雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金)
◆着任時期	可能な限り早く、年度内着任は遅くとも平成 24 年 2 月 1 日、次年度着任(できれば平成 24 年 4 月 1 日)についても相談します。
◆応募期限	平成 23 年 12 月 28 日(水)必着 (ただし順次選考を行い、採用者が決定次第終了します。)
◆応募書類	(1)履歴書(写真貼付) (2)研究業績リスト (3)主要論文の別刷り(コピー可) (4)着任後の抱負 (5)指導教授の推薦状(お持ちの方のみ) (応募書類は原則としてお返ししません。)
◆選考方法	1次:書類選考 2次:面接(場所:京都 RITE 本部)
◆提出・お問合せ	〒619-0292 京都府木津川市木津川台 9 丁目 2 番地 財団法人 地球環境産業技術研究機構 CO ₂ 貯留研究グループ 採用担当 主任研究員 大槻芳伸 宛 TEL:0774-75-2309、e-mail:koubo#rite.or.jp (注:#を半角の@に変えてください。)